

官民合同研修

イクボスのすすめ

～5年後も生き残るためのマネジメント法～

「育児など部下の私生活を応援しながら、組織の成果（業績等）を下げない」という両立に悩んでいる管理職も少なくないのではないのでしょうか。管理職や経営者時代にこの両立を達成してきた講師に、具体的な実践方法を話していただきます。

《プロフィール》

1987年に慶応大学卒・三井物産入社。3年間で利益8割増、株価2倍、残業1/4にした上場会社の社長時代と総合商社の管理職時代に実行したことを「イクボスの定義と10ヶ条」にまとめ世に出した「イクボス生みの親」。

元祖イクボスとしてNHK「クローズアップ現代」で特集され、アエラ「日本を突破する100人」に選出。

ファザリング・ジャパン理事、内閣府や文科省の委員を歴任。

講演が年200回。著書「職場のムダ取り教科書」など



講師 川島 高之氏

イクボスとは

職場で共に働く部下やスタッフのワーク・ライフ・バランスを考え、その人のキャリアと人生を応援しながら、組織業績も結果を出しつつ、自らも仕事私生活を楽しむことができる上司のことをいいます。

日時 令和5年 10月 20日（金）13：00～15：30

場所 苫小牧市役所9階 会議室（旭町4丁目5番6号）

対象 健康経営優良法人認定企業及び『市長とジェンダー・ミーティング』メンバーの皆さま・苫小牧市職員

申込方法 10月10日（火）までに二次元コードでお申し込みください。



【主催】 苫小牧市総務部行政監理室／総合政策部協働・男女平等参画室

【詳細・申込】 苫小牧市総務部行政監理室

TEL 0144-32-6182 FAX 0144-32-2198

✉g-kanri@city.tomakomai.hokkaido.jp

<内容>

講義 + グループワーク（各グループでテーマごとにディスカッションを行います）

- （１）部下力の向上 「部下との接し方」
- （２）上司の覚悟 「脱“イエスマン”」
- （３）時間泥棒の退治 「〇〇の減らし方」
- （４）チーム力の強化 「メンバーが一丸となるゴール設定」
- （５）部下の心得 「権利主張の前に職責果たす」

<苫小牧市の働き方改革推進の取組>

苫小牧市では、「職員個人の能力を最大限発揮できる職場」を実現するため、「イクボスの推進」、「ワーク・ライフ・バランスの推進」、「健康の保持・増進」の３つを柱とし、働き方改革の推進に力を入れて取り組んでおります。

この３つの柱に関連する職員研修や、時差出勤・テレワークの実施など、様々な取組を行った結果、令和５年３月に「健康経営優良法人２０２３（大規模法人部門）ホワイト５００」に認定されており、今後も継続して取り組んでまいります。

<苫小牧市の「イクボスの推進」の取組>

- ・平成２７年 ７月 北海道内初の「イクボス宣言」
- ・平成２８年 １０月 職員研修「イクボス養成講座」、
「ワーク・ライフ・バランス講座」
- ・平成３０年 １月 職員研修「イクボス養成講座～職場革命～」、
「ワーク・ライフ・バランス講座
～仕事の時間を減らし、成果を増やすには～」
- ・平成３０年 １０月 NPO法人ファザーリング・ジャパン
理事 川島 高之 氏と岩倉市長が懇談
官民合同研修「ワーク・ライフ・バランス講座
～仕事と私生活を楽しむためには～」
「イクボス養成講座～ボスが変われば
社会が変わる～」
- ・令和 ３年 ～ 階層別研修「イクボス養成講座」
- ・令和 ５年 １０月 官民合同研修 ５年ぶりの開催



宣言時の集合写真（H27）

イクボス宣言

職場で共に働く部下の仕事と私生活の両立を支援しながら組織としての成果も出し、自ら仕事と私生活を楽しむ「イクボス」になることを誓います。

【宣言文】

- １ 子育てや介護など、両立しながら頑張っている部下を応援するとともに、その時間を割くことへ理解を示します
- ２ 両立のための支援制度を十分に理解し、自ら部下に年次休暇や育児休業、介護休暇など取得を促します
- ３ 部下が私生活の時間を取りやすいよう、会議の短縮や意思決定の迅速化、業務改善などを進めます
- ４ 組織の長として求められる責務を果たし、十分な成果を上げます

平成２７年７月６日

苫小牧市職員管理職一同

管理職代表 財政部財政課長 山口朋史

イクボス宣言文（H27）